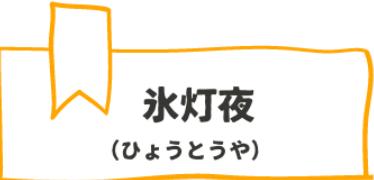




めむろ事情。

～最近のめむろのいろいろなコト～



2月4日（土）芽室町を代表するイベント
「氷灯夜2023」が芽室公園で開催されました。



町を代表する冬のイベント「氷灯夜2023」が2月4日午後、芽室公園で開催されました。アイスキャンドル約2500個の明かりが、訪れた家族連れや学生らを温かく包み込んでいました。イベントは、町観光物産協会が主催し、町内各種団体や役場の若手でつくる実行委員会（三浦啓太郎実行委員長）が主管。昨年はイベント開始（1991年）以来初めて中止し、今年はサウナコーナーや自転車競技「BMX」の披露など、魅力ある企画が初登場しました。午後7時10分ごろからは「氷灯夜の主張」と題して、管内の高校生4人が見晴台から自分の思いを叫んだ。白樺学園高校1年の金井颯さん（16）は、所属する野球部の仲間が見守る中「彼女ができました」と報告。祝福されながら自分の番を終え「叫ぶと気持ちよかった。彼女とは氷灯夜みたいないルミネーションに2人で行きたい」と笑顔を見せました。



2月11日（土）広尾町の旧野塚小学校で芽室町のアイスキャンドル、広尾町の木製ランタンのコラボイベントが行われました。



2月11日（土）広尾町の旧野塚小学校で芽室町のアイスキャンドル、広尾町の木製ランタンのコラボイベントが行われました。これまで、広尾町は比較的気温が高く、アイスキャンドルをうまく作れない環境だったそうです。そこで今回は、芽室町で作ったアイスキャンドルを持ち込むことで開催にこぎ着けました。当日は、サンタランドウッド木工品が販売されたほか、協賛の株式会社まら十勝野、十勝芽室コーン炒飯協議会から提供された食材などを使用し、ミニピザやモッツアレラチーズの手作り体験が行われました。当日は町内外から約200人が訪れ、会場は大いに盛り上りました。今後も友好都市の交流に期待です！



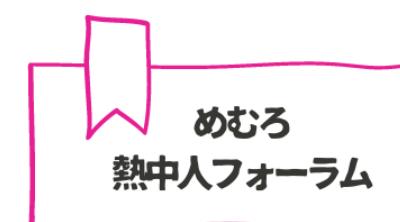
ギフトショー
出展



2月15日から2月17日に開催された「東京インターナショナル・ギフトショー」に芽室町チームとしてブースを出展しました。

「東京インターナショナル・ギフトショー」内、「グランピングゾーン」に芽室町チームとしてブースを出展しました。今年度、地域の資源を活用した商品開発とレシピ開発をする「地域プランディング」と、アウトドアフィールドを活用した観光商品の開発をする「野遊びSDGS」のこの2つについて、地域の様々な立場の方々と検討してきました。これまでの成果として、両方の共通テーマである日本一の生産量を誇る「スイートコーン」を選定し、芽室町をPRしてきました。芽室町やコーンの魅力を知ってもらおうと、ポップコーンやサイダー、ビールなど素材の味を生かしたコーン商品を展示。また、芽室のコーン畑の映像を流し、サイクルツーリズムの取り組みなどを説明しました。

ブースに訪れた方からは、「コーンサイダーは感動する味だった。自然豊かな芽室を訪れ、もぎたてのトウモロコシを食べたい」などの嬉しいコメントをいただきました。



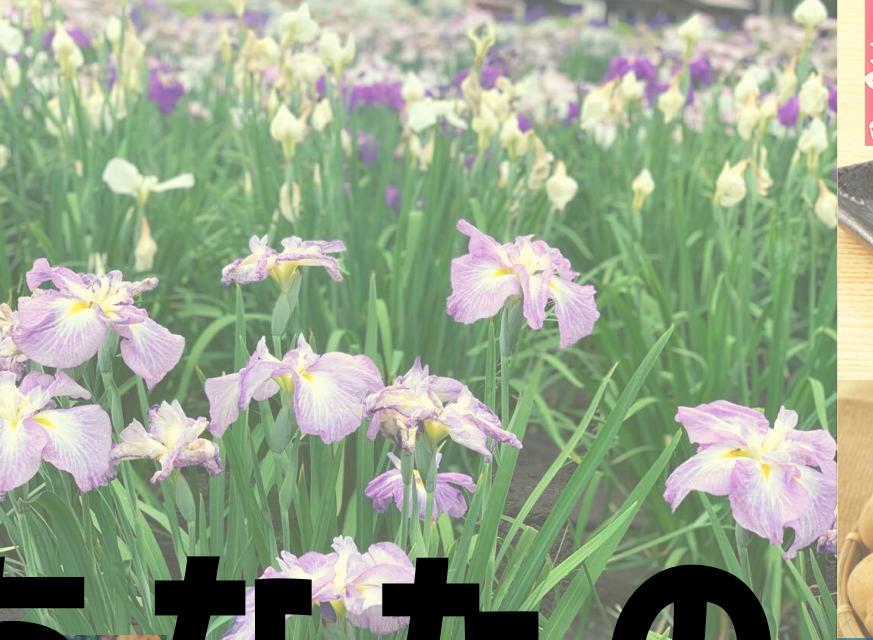
3月19日（日）芽室町の「人」に着目した「めむろ熱中人フォーラム」が芽室町中央公民館で開催されました。



3月19日（日）芽室町中央公民館を会場に「めむろ熱中人フォーラム」が開催されました。芽室町の魅力である「農業・食・景色・人」の中の「人」に着目したイベントで、当日は総勢80人にも及ぶみなさまにご来場いただきました！第1部では、FM JAGA DJの栗谷氏に「芽室の熱中人～熱中していること」と題して、「一歩を踏み出す勇気」「学びは人から得るもの」などご自身の体験から学びの大切さを説いてくださいました。

第2部のトークセッションでは、実際に学びの場に参加されている（株）芽室仕出し看板娘の大塚氏、パソコン・スマホ教室およびパソStyle主宰の山口氏に登壇いただき、学びを通して得た成長や想いなど、リアルな声をお届けしました。ファシリテーターはNPO法人Quercus八所氏に務めていただき、熱気あふれるトークセッションとなりました。

いつまでもいきいきとした日常を過ごすために、学びつづけることの大切さを理解する時間となりました。



MEMURØ PEANU



ふるさと納稅
やってます！



コーン

で広がる。町の未来。

今年度より開始した「地域プランディング」。
「コーン」を核にやっていくこととなりました。

なぜ、
プランディング？

少子高齢化という日本全国共通のトレンドの中で、何も手を打たなければ、人口推計の予想通りに2050年には人口が4割減ってしまうかもしれません。

そこで、我々芽室町は、30年後の2050年を真のターゲットとし、未来の地域で暮らす方々、そしてその時代の社会環境を予測した社会を創出していく必要があると考えています。

のために、芽室に関わりたい人（ファン）を増やす取り組みが大切であり、その取組の一つが「地域プランディング」であると考えます。また、今年度から取組を開始した「まちなか再生」の動きとも絡みながら進めていきたいと考えています。

地域プランディングを推進していくにあたっては、なりたいイメージの共通化があると良い、それが、「まちなか再生」の取組で作成した「まちなか再生ビジョンマップ」になると考えます。地域プランディングを通して「売れる商品づくり」をし、そこを「聖地」として巡ってもらうこと、そこから、「知りたい」→「行きたい」→「住みたい（関わりたい）」の連鎖が起こる、そんな持続可能な町になれば良いなどの思いで進めさせていただいております。

なぜ、
コーン？

芽室町は、スイートコーンの生産量が日本一として知られています。これまでコーンを題材にした商品やイベントが誕生してきたことから、ワークショップメンバーがコーンでのまちづくりに着目をしました。「コーン」を核にまちの魅力を発信していく、独自の特産品や文化などで他地域との差別化を図れば、持続可能な地域になるのではないか。また、観光ツアーを開発する「野遊びSDGs」の取り組みと合わせることで、商品だけではなく、観光ツアーなど様々なことができるかもしれません。今後、町民が主体となった、新たな商品開発やイベント企画などを期待したいですね。



これまでの
活動

R 2

官民一体型プロジェクトメンバー「魅力発見隊」による、ビジョンマップ（20年後の将来像）の製作。

R 3

ビジョンマップをベースに芽室町の「シティプロモーション計画」を策定・成案。

R 4

芽室町をプランディングしていくに当たり、町民ワークショップ組織（地域プランディング・の遊び）を設置し、ワークショップ、モニターツアー、フォーラムなどを実施。

令和4年度の活動のあれこれ・・・

ワークショップ

「アイディア満載のワークショップ」

計3回開催。

コーンのシーンや、デートプラン、観光プラン、ギフトショーのレイアウト検討などを行いました。



フォーラム

「知ってもらう・考てもらう場として開催」

なぜ、今芽室町で地域プランディングなのか、地域プランディングは何のためのもので町がどうなるのかをイメージしてもらう場として、フォーラムを開催しました。41名が参加くださいました。



「めむろといえば！のスポット巡る」

ワークショップで検討したデートプラン・観光プランについての撮影を行いました。写真は、コーン畠で、バーボン（妄想商品）の乾杯シーンです。



アンケート調査

「外へ発信するための土台づくり」

ワークショップメンバー内で「まずはコーンを核」にプランディング化していくことで一致していたが、町民全体の考えを確認するべく、アンケートを実施した。296人と多くの方が回答いただき、外へ発信するための土台づくりをすることがきました。



ギフトショー

「芽室の魅力をMAX発信」

これまでの活動の共通テーマである「スイートコーン」を選定し、芽室町をPRしました。
※P3「めむろ事情でも紹介」



今後の
活動

町民主体の商品開発推進や、現在あるコーンがテーマの商品・イベントの洗い出しなどを進める予定となっております。

進捗については、またご報告させていただきますので、お楽しみ！



To be continued...

今年度も1年お世話になりました

課のメンバーからごあいさつ

コーヒーおじさん

西田まさき課長



こんにちは。西田昌樹こと、コーヒーおじさんです。遠く離れた芽室町をいつも温かく見守っていただき心から感謝申し上げます。皆さんの芽室愛をひしひしと感じています。芽室町はまだまだ発展し続けてますので、これからも皆さんの熱いご支援をお願いいたします。芽室町にお帰りの際にはぜひ役場にお立ち寄りください。おいしいコーヒー淹れします！（本当に淹れるので事前連絡くださいね）

週末のサウナの時間が癒しのひとときであり、一週間の力の源になっています。いつか皆さんとも、どこかのサウナでご一緒できれば幸いです。

あっ、一点お願いが・・・

「ふるさと納税も担当しています。生産者・事業者のみなさんの熱い思いが詰まった返礼品が日に日に増えています。【芽室町ふるさと納税】で検索いただくか、こちらのQRコードから、芽室町の魅力に触れていただければ嬉しいです！



偽ととのい親方

渡邊こうじ補佐

東京かぶれのシティボーイ



近藤たける
去年の3月まで東京で修業していた近藤です。2年間公私ともに貴重な体験をさせていただき心も体も東京に染まりかけましたが、4月からはしっかりと芽室人として頑張っています。3年ぶりの芽室での生活は、やっぱり芽室は過ごしやすいなあって感じながら改めていい場所だと思いました。4月からも魅力創造課にいます。皆様とお会いできる日を楽しみにしています。



ふるさと会の皆さん、こんにちは。ふるさと会担当のたき火ジムニー女こと餌取です。昨年より「アウトドア」に目覚めてしまい、今はキャンプに情熱を注いでいます。好きな食べ物はキャンプ飯、よく行くたき火スポットは、芽室公園。日課は、毎日10分の筋トレとヨガ、週1回のサウナです。今年はムキムキになろうと思っています(笑)皆様とお会いできるのを楽しみにしています。

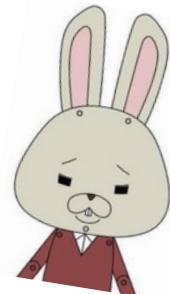
編集後記

ふるさと会担当の餌取です。今年度3回目の通信になりますが、これまでとても楽しみながら作成することができました。皆さんにとっての「ふるさと芽室町」が、身近に感じていただけたり、今こうなんだ！と知っていただけたり、少しでも想いが伝わっていれば嬉しいです。

今年度も1年間ありがとうございました。今後も「ふるさと芽室町」をどうぞよろしくお願ひいたします。

おしゃれな暴れん坊
【新嵐山担当】

小林のりあき参事



ふるさと会の皆さん、こんにちは。おしゃれな暴れん坊こと、小林徳昭です。いつもふるさと芽室町のことを見守っていただき、ありがとうございます。長引くコロナの影響で、ふるさと芽室町へ来ることが難しかったと思いますが、行動制限も緩和されたので芽室町にお帰りの際には、「めむろ新嵐山スカイパーク」にお立ち寄りいただければ幸いです。ぜひ【変わりつづける新嵐山】を体感してください！

昨年もコロナ禍でなかなか皆さんとお会いすることができませんでしたね。なかなかこちらにも来られることは難しかったのではないかでしょうか。

そろそろ芽室町に気兼ねなく足を運べるようになったかと思います。是非、芽室町に来て、芽室町を見て、聴いて、味わってください。各地の総会などで皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

クラフトビールバカ

大石ひでと係長



小中高と陸上部に所属していた私が、令和4年度は素敵なご縁をいただき、芽室中学校の陸上部員にハンドルの練習を伝授しに行っています。私が高校を卒業して早6年が過ぎようとしていますが、「まだ走れる」とあの頃の感覚は頭の中だけ。

体はついていかず、足が上がらない…。

「もう走れない」に置き換えて、鍛えなおさないとダメですね。とほほ。

もう走れない陸上部

真田しおん



魅力発信係メンバー



田川ただし
「必殺交渉人！」



阿部そういちろう
「僕の自転車は3人乗り！」

橋本きゅううどう
「やっと正職員に！」